平成 25 年 3 月 14 日

各　　位

会 社 名　アストマックス株式会社
代表者名　代表取締役社長　本多　弘明
（大証 JASDAQ・コード７１６２）
問合せ先　常務取締役　小幡　健太郎
（電 話　03-5447-8400）

平成 25 年３月期２月度の月末運用資産残高のお知らせ

今期（平成 25 年３月期）２月度の月末運用資産残高につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

２月の商品市況は総じて軟調な展開となりました。主要銘柄では、金をはじめとする貴金属や銅等の非鉄金属が売られ、エネルギー資源についても原油関連が売られました。一方、このような市況下において、石炭や天然ガスは反発しました。株価については、G20 財務相・中央銀行総裁会議での「通貨安競争」議論があったことに加え、スペイン首相の資金不正受領疑惑、イタリア総選挙に伴う財政健全化への不透明感等から、主要なマーケットでは一時リスク回避的な売りが見られました。しかし、月間を通してみると、欧州各国の株式市場はまちまちな結果となりましたが、米国や日本等の主要株式市場では景況感の改善から堅調に推移しました。

当社グループが公表しております円建てのアストマックス商品指数（AMCI）は、１月末の 395.264 に対し、２月末は 385.666 と、前月比 2.43%の下落となりました。

エネルギー市場では、WTI が２月 20 日に１日としては年初来最大の下落幅を記録したことや、需給面が相場を圧迫したことから売られ、月末には１バレル当たり 91 ドル台となりました。
貴金属市場では、米連邦公開市場委員会議事要旨で量的緩和政策の縮小・停止の可能性に言及があったことを受け、COMEX 市場では、投機筋の買い越しが 2007 年以降で最大の落ち込みを示し、金価格は節目の１トロイオンス当たり 1,600 ドルを割り込み 1,570 ドル台で２月を終えました。
非鉄金属市場は、銅がイタリア総選挙の結果を受け下落し、さらに在庫の増加傾向が続いていること等が重しとなり、節目の１トン当たり 8,000ドルを割り込みました。アルミについては、銅と共に下落に転じ、１月の安値圏である１トン当たり 2,030 ドルを割り込む展開となりました。
穀物市場は、横ばいで推移しました。コーンは軟調だった月半ばでも１ブッシェル当たり 6.80 ドルを維持し、大豆も前月末と同水準の１ブッシェル当たり 14 ドル後半で月末を迎えました。

２月の欧州株式市場は、イタリア総選挙を受けて財政改革継続への不透明感が高まったこと等から、ユーロ・ストック 50 指数は 2.57%下落しました。米国株式市場は、イタリア政局不安から一時リスク回避的な下落が見られたものの、住宅関連指標等の経済指標が改善していることから小幅上昇し、1.11%の上昇となりました。日本の株式市場は、日銀総裁人事を受けて追加金融緩和への期待が高まったことや安倍政権による政策期待、米国株高と円安の継続から引き続き上昇し、TOPIX は１月末の 940.25 に対し、２月末は 975.66 と 3.77%の上昇となりました。

当社グループが運用する資産残高は、前月比 3,233 百万円減（4.88%減）の 63,074 百万円となりました。

尚、平成 24 年 12 月 28 日付で子会社となりましたＩＴＣインベストメント・パートナーズ株式会社（IIP）における平成 25 年２月末の運用資産残高は 1,066 億円でありますが、上記資産残高には含んでおりません。但し、1,066 億円のうち約 180 億円につきましては、当社連結子会社であるアストマックス投資顧問株式会社が IIP から外部委託を受けて商品先物運用を行っているものであり、上記 63,074 百万円の残高に含まれております。

【運用資産残高（数値）】

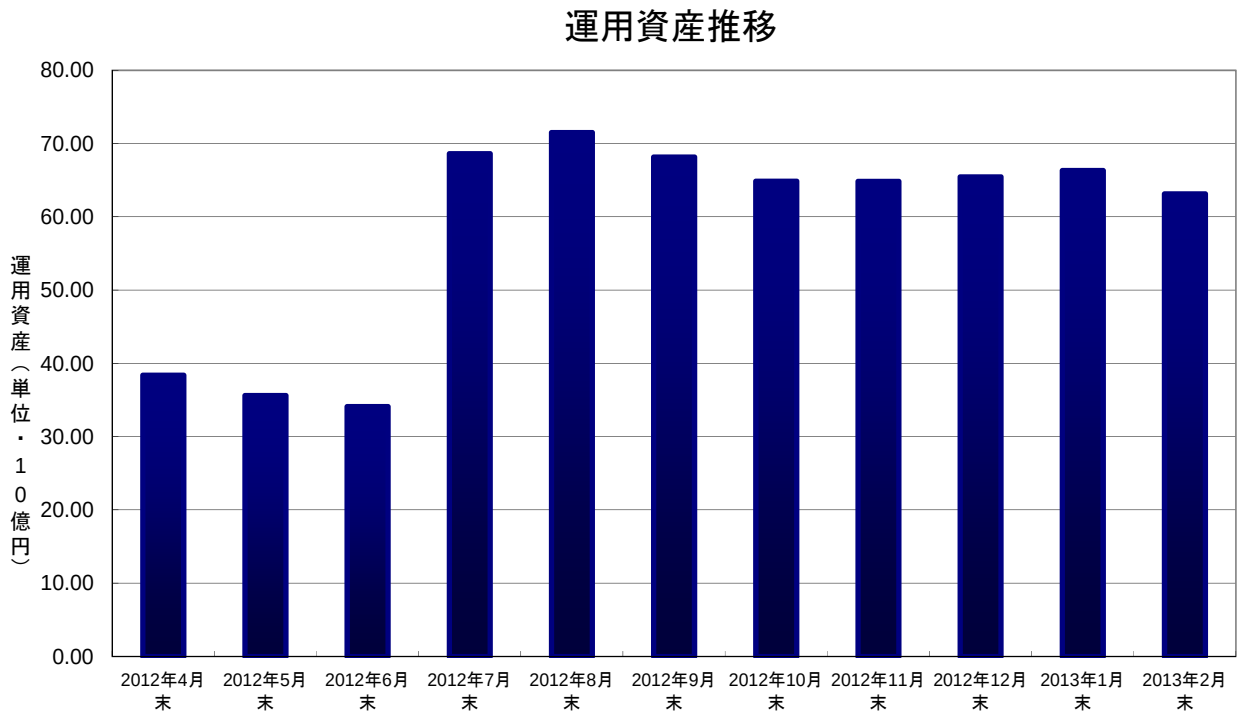
（単位：百万円）

	平成24年 4月	平成24年 5月	平成24年 6月	平成24年 7月	平成24年 8月	平成24年 9月
商品投資顧問事業	28,412	26,251	24,919	38,923	41,506	40,596
証券投資顧問事業	9,966	9,369	9,180	29,698	29,992	27,582
合計	38,378	35,620	34,099	68,621	71,499	68,179

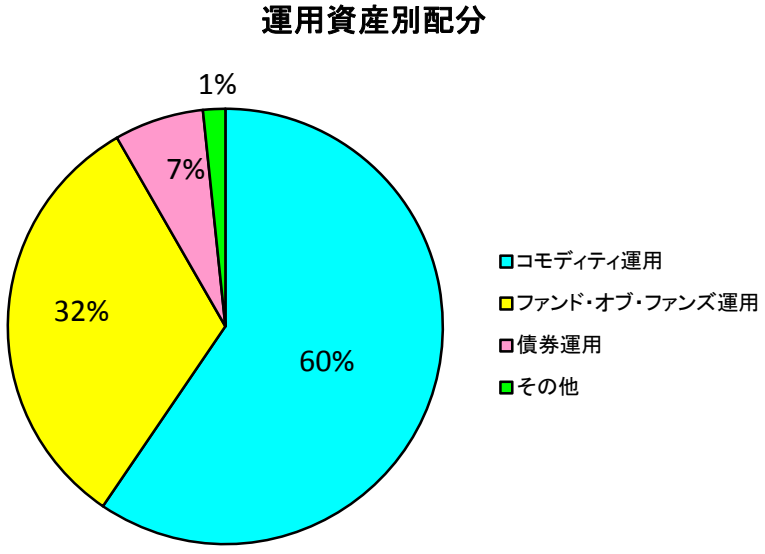
	平成24年 10月	平成24年 11月	平成24年 12月	平成25年 1月	平成25年 2月	平成25年 3月
商品投資顧問事業	38,670	38,499	38,982	39,443	37,571	
証券投資顧問事業	26,189	26,338	26,486	26,865	25,502	
合計	64,859	64,838	65,469	66,308	63,074	

（注）１．上記の数値は、原則、毎月第 10 営業日までに開示いたします。
２．上記の数値は、概算値を含んでおります。
３．概算値は翌月以降、確定次第確定値に変更いたします。

【運用資産残高（グラフ）】



(注) 平成 24 年 7 月より旧マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ株式会社（平成 24 年 10 月 1 日付でアストマックス投資顧問株式会社に商号変更）の運用資産残高を加えた数値を記載しております。



以上